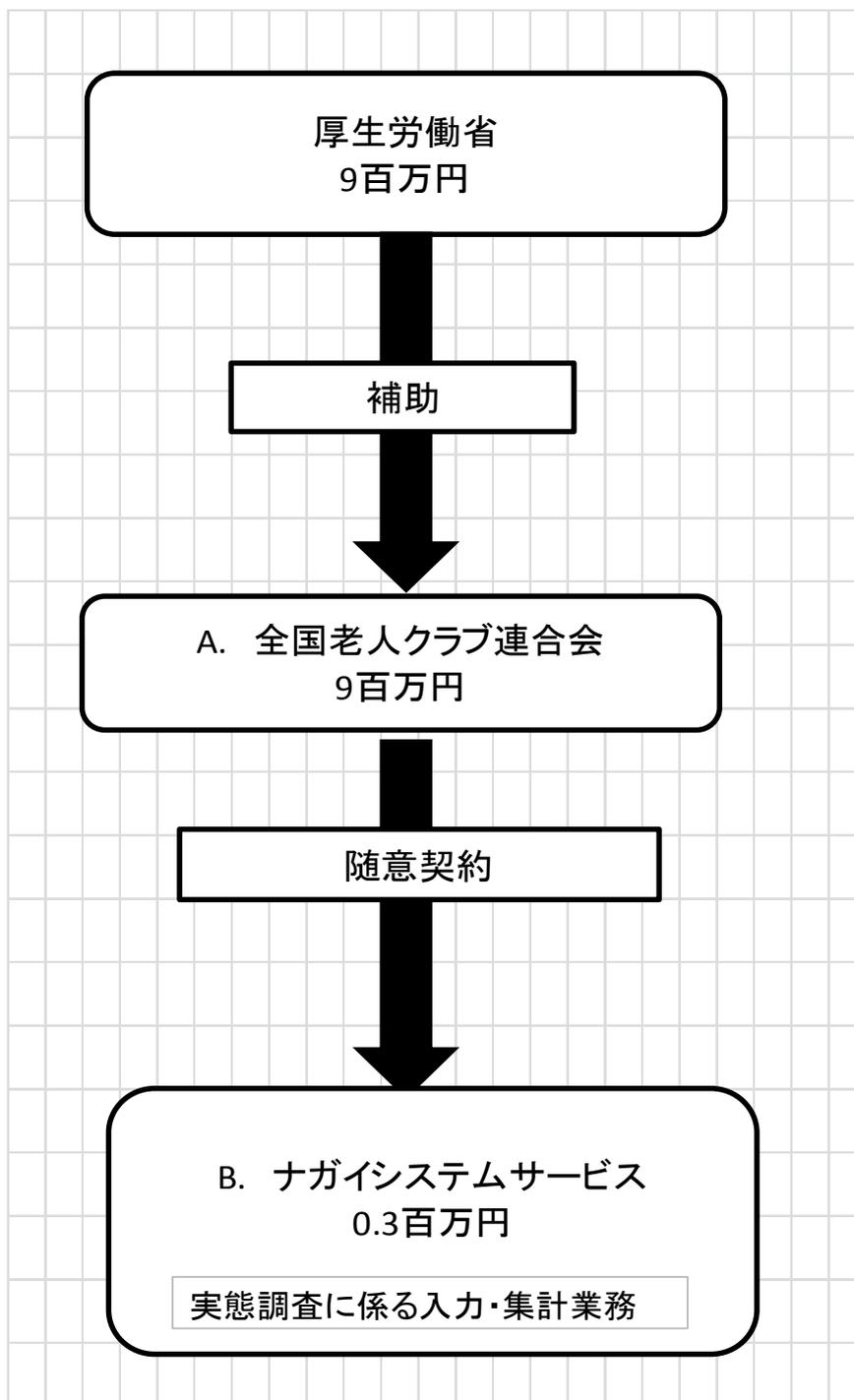


平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	全国老人クラブ連合会助成費			担当部局庁	老健局		作成責任者		
事業開始年度	昭和42年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	振興課		振興課長 三浦明		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	老人福祉法第13条			関係する計画、通知等	全国老人クラブ連合会助成費の国庫補助について(平成23年3月18日厚生労働省発0318第2号)				
主要政策・施策	高齢社会対策			主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり、高齢者を主体とする健康保持と相互の生活支援という観点から、その活動や役割が今後、益々期待されていることから、全国老人クラブ連合会が当該事業を実施し、単位老人クラブ、市区町村老人クラブ連合会及び都道府県・指定都市老人クラブ連合会が行う活動の連携により一層の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	各地域の老人クラブの活動を支援するため、都道府県・指定都市老連のリーダーや老人クラブ活動推進員、郡市区町村老連及び単位老人クラブリーダーの資質向上を目的とする研修会の開催、単位老人クラブの育成指導並びに都道府県・指定都市及び郡市区町村老連の行う活動の指導、都道府県・指定都市老連の組織・活動に関する実態調査に必要な経費を対象として助成する。								
実施方法	補助								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	9	9	9	9	9	9	
	執行額	9	9	9	9	9	9		
執行率(%)		100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と25~27年度の達成状況・実績					
	本事業の目的は高齢者の生きがいや健康作りを推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することであり、活動の連携により一層の活性化を図るものであるため、成果目標を定量的に示していない。			老人クラブ活動等の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することを目指す。25年度~27年度において、本事業により、老人クラブが行う各種活動に対する助成につながっている。					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	高齢者の生きがいや健康づくりの推進	予算執行率	実績	%	100	100	100	-	-
			目標値	%	100	100	100	-	100
			達成度	%	100	100	100	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	老人クラブリーダー等養成研修者数	活動実績	人	2,506	2,119	集計中	-		
		当初見込み	人	2,200	2,120	-	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	老人クラブ活動推進員による研修開催件数	活動実績	件	23	20	集計中	-		
		当初見込み	件		22	-	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	老人クラブに関する調査研究数	活動実績	件	20	20	集計中	-		
		当初見込み	件	20	20	-	-		

単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	X:「老人クラブ指導者養成事業費(実績額:百万)」/ Y:「老人クラブリーダー等養成者数」						単位当たりコスト	円/人
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	X:「老人クラブに関する調査研究事業費(百万円)」/ Y:「老人クラブに関する調査研究数」						単位当たりコスト	円/人
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由				
	高齢者社会活動支援事業費補助金	9	9					
	計	9	9					
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	基本目標Ⅸ 高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりを推進すること 施策大目標3 高齢者の健康づくり・生きがいづくりを推進するとともに、介護保険制度の適切な運営等を通じて、介護を必要とする高齢者への支援を図ること						
	施策	高齢者の介護予防・健康づくりを推進するとともに、生きがいづくり及び社会参加を推進すること(施策目標Ⅸ-3-1)						
	測定指標	定量的指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標年度 28年度
		実績値	箇所	107,997	105,532	集計中	-	-
	老人クラブ活動実績事業数	目標値	箇所	110,701	107,997	105,532	-	集計中
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係						
	老人クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり、高齢者を主体とする健康保持と相互の生活支援という観点から、その活動や役割が今後、益々期待されていることから、全国老人クラブ連合会が当該事業を実施し、単位老人クラブ、市区町村老人クラブ連合会及び都道府県・指定都市老人クラブ連合会が行う活動の連携により一層の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することができる。							
	改革項目	分野:	-	-				
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)	単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-
目標値		-	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)	単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係								
-								

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	全国老人クラブ連合会が当該事業を実施することにより、老人クラブ等が行う活動における連携やその一層の活性化が図られるため、国費を投入し、その目的を達成すべきである。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	都道府県・指定都市老連のリーダー等に対する研修等であることから、国で実施すべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	高齢者の生きがいや健康づくりの推進に資するものであることから、優先度が高い。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	当該団体は老人クラブの全国団体であることから、支出先として妥当である。			
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	平成22年度予算において、対前年度2割の削減を行っており、その後も効率的な執行に努めている。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	入力・集計業務といった、単純業務を外部の会社に発注しているもの。			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業開始前に事業計画において事業内容、経費の支出予定などを確認し、交付決定を行っている。			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は成果目標に見合っている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みに沿っている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	研修の養成者は、全国の老人クラブのリーダー等として活動している。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	<p>本事業は、市町村・都道府県の老人クラブ連合会に対する指導助言、指導者の資質向上等を行うための助成を行う。一方、在宅福祉事業費補助金は、単位老人クラブの活動、市町村・都道府県の老人クラブ連合会の活動の活性化のために助成を行うものであり、相互の連携により、老人クラブ活動の活性化が図られると考えている。</p>			
	所管府省・部局名	事業番号				事業名
	厚生労働省老健局	790				在宅福祉事業費補助金
点検・改善結果	点検結果	<p>・平成22年度予算において、対前年度2割の削減を行ったところである。</p> <p>・事業開始前に事業計画において事業内容、経費の支出予定などを確認し、交付決定を行っており、国庫補助金の精算に当たっては、実績報告書(研修会の開催状況、内容、頻度、規模等)及び国庫補助金の使途の明細を(財)全国老人クラブ連合会から提出させ、事業実施状況、支出内容・額などについて確認している。</p>				
	改善の方向性	<p>老人クラブの活動は、高齢者の閉じこもり予防や次世代育成支援、地域の再構築等の社会を取り巻く様々な問題に対応したものであり、生涯現役社会の実現にもつながる、極めて重要な活動である。さらに、地域の見守り活動やサロンの開催、高齢者宅の困りごとに対応した簡単な修理等の活動も行われているなど、高齢者同士の支え合いによる生活支援サービス基盤の構築、地域包括ケアシステムへの貢献にも期待が高い。そのため、今後も予算の執行状況を踏まえつつ、必要な予算額を確保し、老人クラブの全国団体である全国老人クラブ連合会の活動を支援していく。</p>				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通	点検結果は妥当であり、高齢者の生きがいや健康づくりの推進に必要な事業であるため、引き続き必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	531	平成23年度	483	平成24年度	426	
平成25年度	813	平成26年度	815	平成27年度	826	



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

